

担い手通信

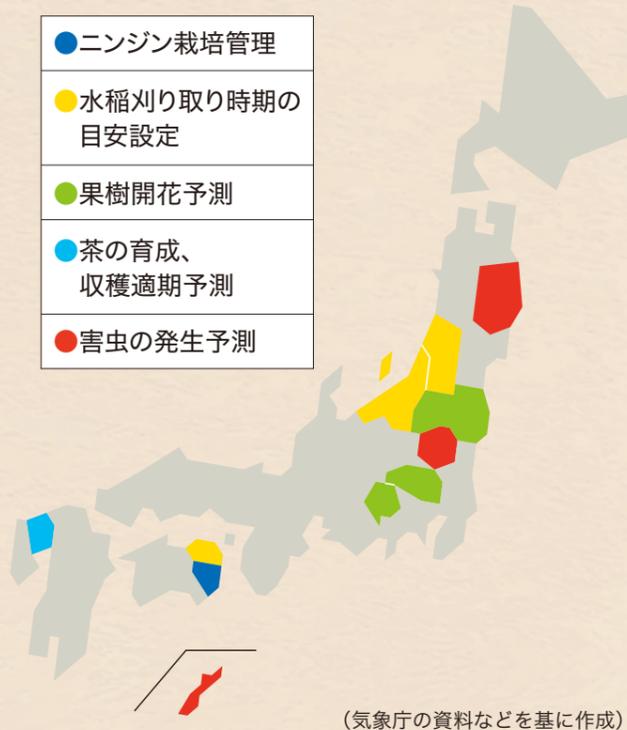
ninaitetsushin

vol. 1

先進事例情報

2週間気温予報の活用事例

- ニンジン栽培管理
- 水稲刈り取り時期の目安設定
- 果樹開花予測
- 茶の育成、収穫適期予測
- 害虫の発生予測



2週間気温予報 各地で

2週間気温予報は、各都道府県の代表地点について、直近1週間と今後2週間の最高・最低気温を「かなり低い」から「かなり高い」までの5段階で色別に表示。今後2週間について、最低気温の誤差幅を示し、この範囲に80%の確率で入るとします。

気象庁が2019年6月から運用を始めた「2週間気温予報」が、全国11県以上で農業に活用されていることが分かりました。平年値に比べて、その年の傾向に合った予測ができるため、農業関係機関が生産者に事前に早期警戒に関する具体的な指導ができるようになっていきます。

防除・開花予測に活用

山形、新潟、香川では水稲の刈り取り時期の目安設定に活用。福島、埼玉、山梨では果樹の開花予測、栃木ではヒメトビウンカの発生予測に利用しています。徳島ではトンネル春夏ニンジン栽培で使っている上、週間天気予報と組み合わせ、曇りや雨の日も確認。安定した作業計画の作成が可能になりました。

普及の背景には、利用のメリットを調べた研究の成果があります。同庁と農研機構は16年、2週間先の気温予測データを使い、極端な高温や低温への早期警戒や、小麦の赤かび病の防除適期（開花日）予測に役立つと発表。農業分野で活用できることを示し、普及センターや農業試験場担当者らに活用を促しました。

日本農業新聞 2021年4月3日

営農技術ピックアップ

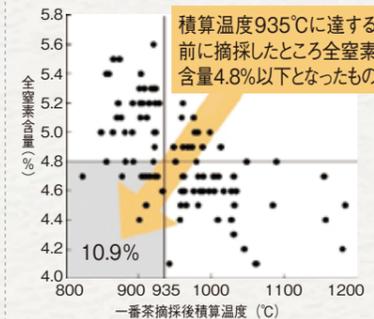
品質の安定化を目指して 全窒素含量を指標とした 二番茶かぶせ茶の摘採日予測

茶葉の用途が拡大する中で、二番茶かぶせ茶は一定の需要が見込まれています。県内の産地からは収量を確保しつつ、品質や成分を高いレベルで安定化する技術が求められています。これら産地からの要望に応えるべく、農業研究所は茶品質において重要な成分の一つである全窒素を指標に二番茶かぶせ茶の最適摘採日を予測する方法を開発しました。

一番茶摘採後から二番茶摘採までの積算温度と二番茶かぶせ茶の全窒素含量には強い相関関係があることが分かっています。この相関関係のもと、全窒素含量を指標に二番茶かぶせ茶を生産する際に、一番茶

摘採後の積算温度を用いて最適摘採日を算出することで、精度の高い予測を実現できることが分かりました。全窒素含量の目標値を4.8%とした場合、達成できる積算温度は935℃となりました。この数値と農研機構が開発・提供しているメッシュ農業気象データを用いて摘採日を予測できます。その予測精度を茶生産現地のデータ(n=101)を用いて検証したところ、予測に適合しない割合は10.9%だけに留まりました(図)。

が行われている「やぶきた」成園で適用できます。また、この予測は全窒素含量を基準にしたもので、収量は予測できませんので注意が必要です。



北勢現地における「二番茶かぶせ茶摘採予測システム Ver.1」による予測の適合性(2017年 n=40、2018年 n=33、2019年 n=28、品種「やぶきた」)

この予測は、県の施肥基準に従った施肥、かぶせ茶の慣行管理

お問い合わせ先 茶業・花植木研究室 茶業研究課 ☎0595-82-3125
中央農業改良普及センター茶普及課 ☎0598-42-6707

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

JAバンク三重 専門家派遣事業

法人化 事業承継 労務管理

農業者の皆さまの悩みや課題を 専門家がサポートします

6次産業化 経営改善



- ★税理士や中小企業診断士などのプロがアドバイスを行います。
- ★最大で5回、**無料**で専門家のサポートを受けることができます。

「JAバンク三重専門家派遣事業」は、円滑な事業承継や経営の高度化を目指す農業者の皆さまの要請に応じ、専門的な知識や経験を有する専門家を派遣し、経営課題に応じた適切な診断・助言を行うことで、課題の解決を図り、皆さまの発展に資することを目的としています。ぜひ、ご利用ください。

実施期間
2020年4月1日
～2022年2月28日

- 対象者
- 三重県内において農業を営む方および農業に従事する方
 - 三重県内において農業を営む法人
- ※課題が不明確な場合や受入体制が不十分などの場合は、ご希望に沿いかねる場合もございます。

詳細については各JA担当者までご確認ください

農業を営むすべての方に

農業経営資金

農業経営に必要な資金として幅広くご利用いただけます

トラクター・ドローンなどの農業機械購入	生産管理システムなどの先進技術導入	
栽培用ハウス・畜舎建設	農地購入	農業運転資金
その他 農業経営に必要な資金		

農業者の皆さまを応援するため
JAバンク利子補給制度で
金利負担を軽減します

基準金利 (変動金利・2021年4月1日現在)
年1.0% → 当初3年間の実質金利 年0.2%

【取扱期間】2021年4月1日 ▶ 2021年12月31日

詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。
JAバンク三重 農業資金 検索 JAバンク 三重県下JA/JA三重信連